

<防犯カメラシステムについて>

Scmは公益的立場から、地域コミュニティに貢献するようなCATV施設を活用した情報通信インフラについて、調査・研究を行ってまいりました。

防犯カメラシステムは、既存のCATV施設を活用した具体的なシステムとして、平成17年度の機器動作実験を踏まえ、平成19年2月より運用実験（千葉県市原市ちはら台地区）を開始しています。

安心・安全なまちづくりに役立てることができます。

Scmの防犯カメラシステムは、公共空間を監視するもので、犯罪の抑止効果等に期待ができ、安心・安全なまちづくりの形成に役立てることができます。また、24時間体制で防犯カメラを作動させ画像データの保存を行うため、万が一事故等が起きた際には、その時点の映像を確認することができます。

地元の自治会を運営主体とした安定した非営利の運営体制です。

Scmは防犯カメラシステム機器を無償で地元自治会に貸与し、自治会が主体となって防犯カメラシステムの運営を行います。そのため非営利で、安定した運営が可能となっています。

外部進入の心配がない安全なイントラネットシステムです。

地区区域内だけの、独立したCATV回線によるイントラネットシステムなので、通常のインターネットとは異なり、外部から進入される心配はなく、セキュリティ面も安全です。また、既存CATV回線と低廉な汎用機器を用いることで、防犯カメラのシステム構築をローコストで行うことを可能としました。

通常はサーバーにカメラ画像を自動保存するのみとし、プライバシーを守ります。

IPカメラとCATV回線で接続された映像記録専用サーバーが、IPカメラからの画像データを自動的に保存します。

万が一事故等で画像の確認が必要になった場合のみ、映像再生専用のパソコンでサーバーに保存された画像データを確認します。

データ閲覧には、専用機器やIDが必要となり、部外者は容易に見ることができない、安心なシステムとなっています。

通常の運用は機器による画像データの自動保存のみであるため、個人のプライバシーが保たれています。

防犯カメラと防犯カメラからの画像例

